

平成27年度第2回広島県道徳教育研究協議会(全体報告会)

【研究報告Ⅱ】

分科会⑥

道徳の時間と他の教育活動との 関連による道徳教育



発表者：安芸高田市立可愛小学校 教諭 児玉 克恵

運営者：広島県立千代田高等学校 教諭 住本 光子

運営者：福山市立湯田小学校 教諭 藤井 勝成

説明の流れ

1 道徳教育と道徳の時間の関係

2 教育活動全体を通じて行う指導

(1)各教科等と関連をもたせた指導

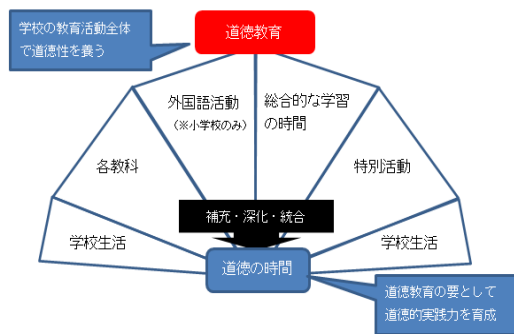
(2)実践事例(安芸高田市立可愛小学校の実践より)

3 その他の教育活動における指導

1 道徳教育と道徳の時間の関係

道徳教育は、**学校の教育活動全体**を通じて、**道徳性**を養うことを目標としています。道徳の時間は、道徳教育でとらえた道徳的諸価値を**補充、深化、統合**する計画的・発展的な学習により、**道徳的実践力**を育成する**要**となる時間として位置付くものです。

1 道徳教育と道徳の時間の関係



1 道徳教育と道徳の時間の関係

年間指導計画の位置付け

・教育活動全体で行った道徳教育を、道徳の時間で効果的に補充、深化、統合するためには、道徳の時間とそれ以外の道徳教育をどのように関わらせるのか、その工夫が大切である。



学習指導要領には、教育活動全体を通じて行う道徳教育の内容及び時期等を全体計画に示すことになっています。多くの学校が、全体計画の**別業**の形でまとめています。

1 道徳教育と道徳の時間の関係

〈道徳教育の全体計画 別業(例)〉

①

内容項目

学年	領域	単元	内容	道徳教育	道徳の時間	関係	備考
1-2年	道徳	道徳の心	道徳の心	道徳の心	道徳の心	道徳の心	道徳の心
3-4年	道徳	道徳の心	道徳の心	道徳の心	道徳の心	道徳の心	道徳の心
5-6年	道徳	道徳の心	道徳の心	道徳の心	道徳の心	道徳の心	道徳の心

各教科等

1 道徳教育と道徳の時間の関係

〈道徳教育の全体計画 別葉(例)〉

②主な体験活動や実践活動と道徳の時間の指導の時期を示した例

【第2学年】別葉

道徳の時間

安芸高田市立可愛小学校

主な体験活動や実践活動

主な体験活動や実践活動 (道徳の内容との関連)	道徳の時間	その他
<p>●あいさつ運動 B-礼儀 誰にでも気持ちのよい挨拶を、心を込めてできるようにする。</p> <p>●学校たんけん C-よりよい学校生活 新しく入ってきた1年生に、学校のよさや使い方を教えてあげることがを通して、上級生としての自覚をもつ。</p>	<p>B-礼儀 「あいさつってふしぎ」</p> <p>C-よりよい学校生活 「しょうがいます」</p>	<p>学級活動 「学校のきまりを知ろう」</p> <p>学級活動 「生活のきまりを知ろう」</p> <p>あいさつ運動</p>

1 道徳教育と道徳の時間の関係

補充とは

児童は、学校の諸活動の中で多様な道徳的価値について感じたり考えたりするが、そのすべてについて考える機会があるとは限らない。道徳の時間は、このように学校の諸活動で考える機会を得られにくい道徳的価値などについて補充する役割がある。

「小学校学習指導要領解説 道徳編」より抜粋

1 道徳教育と道徳の時間の関係

深化とは

体験の中では道徳的価値の意味などについて必ずしもじっくりと考え、深めることができるとは限らない。道徳の時間は、このように道徳的価値の意味やそれと自己とのかかわりについて一層考えを深化させる役割を担っている。

「小学校学習指導要領解説 道徳編」より抜粋

学年	道徳の時間	主な体験活動や実践活動	道徳の時間との関係
1-1	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-2	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-3	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-4	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-5	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-6	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-7	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-8	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-9	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-10	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-11	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-12	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-13	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-14	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-15	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-16	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-17	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-18	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-19	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-20	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-21	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-22	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-23	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-24	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-25	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-26	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-27	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-28	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-29	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-30	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間

補充
学校の諸活動で考える機会が少ない道徳的価値について補う。

日頃から、感謝の気持ちをもとと指導していますが、教科では生活科の「通学路の安全」でしか取り上げていません。2年生の「2-(4)感謝」は、指導の機会が少ないですね。



1 道徳教育と道徳の時間の関係

統合とは

多様な道徳的体験をしていたとしても、それぞれがもつ道徳的価値の相互の関連や、自己とのかかわりにおいての全体的なつながりなどについて考えないままに過ぎてしまうことがある。道徳の時間は、それらを統合し、児童に新たな感じ方や考え方を生み出すという役割もある。

「小学校学習指導要領解説 道徳編」より抜粋

学年	道徳の時間	主な体験活動や実践活動	道徳の時間との関係
1-1	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-2	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-3	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-4	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-5	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-6	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-7	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-8	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-9	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-10	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-11	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-12	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-13	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-14	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-15	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-16	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-17	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-18	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-19	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-20	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-21	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-22	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-23	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-24	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-25	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-26	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-27	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-28	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-29	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間
1-30	道徳の時間	道徳の時間	道徳の時間

深化
道徳的価値の意味について、理解を深める。

算数科では、九九の学習で算数の内容と共に、「努力の大切さ」を指導しました。でも、あまり深まりがなかったなあ...

それでは、道徳の時間で「1-(2)」の内容をしっかりと深める必要がありますね。



学年	教科	単元	内容	指導内容	道徳的価値	関係する道徳的価値
1年	生活科	身近な生活の様子	生活科「しぜんともだち」	生活科「しぜんともだち」	自然の恵みを受けとる	道徳「しぜんともだち」
2年	生活科	身近な生活の様子	生活科「しぜんともだち」	生活科「しぜんともだち」	自然の恵みを受けとる	道徳「しぜんともだち」
3年	生活科	身近な生活の様子	生活科「しぜんともだち」	生活科「しぜんともだち」	自然の恵みを受けとる	道徳「しぜんともだち」
4年	生活科	身近な生活の様子	生活科「しぜんともだち」	生活科「しぜんともだち」	自然の恵みを受けとる	道徳「しぜんともだち」
5年	生活科	身近な生活の様子	生活科「しぜんともだち」	生活科「しぜんともだち」	自然の恵みを受けとる	道徳「しぜんともだち」
6年	生活科	身近な生活の様子	生活科「しぜんともだち」	生活科「しぜんともだち」	自然の恵みを受けとる	道徳「しぜんともだち」

統合

様々な活動で得られた道徳的価値を結び付ける。

友達とのかかわりは、生活科のグループ学習や体育のボールゲームなど様々な場面で指導していますが、その場面だけの指導だったな。

それでは、道徳の時間で日々の「2-(3)」の指導について全体的に考えさせる必要がありますね。

「小学校 心に響き、共に未来を拓く道徳教育の展開」(文部科学省)から

2 教育活動全体を通じて行う指導

(1)各教科等と関連をもたせた指導

例えば、国語科における物語文の学習、社会科における郷土や地域の学習、体育科におけるチームワークを重視した学習、特別活動における集団形成の学習など、各教科等と道徳の時間の指導のねらいが同じ方向をもつとき、学習の時期を考慮したり、相互の関連を図ったりして指導を進めると、効果を一層高めることができる。その際、各教科等と道徳の時間それぞれの特徴が生かされた関連となるように配慮することが大切である。

「小学校学習指導要領解説 道徳編」より抜粋

2 教育活動全体を通じて行う指導

(1)各教科等と関連をもたせた指導

①植物を育てた生活科での学習体験とかかわらせる

生活科「しぜんともだち」 ↔ 道徳の時間「しぜんともだち」

②家族に取材した社会での学習とかかわらせる

社会科「昔の人たちの願い」 ↔ 道徳の時間「たいせつな家族」

③日本の文化を楽しんだ音楽などの学習とかかわらせる

音楽科「わらべ歌を楽しもう」 ↔ 道徳の時間「我が国の文化」

「小学校 心に響き、共に未来を拓く道徳教育の展開」(文部科学省)から

2 教育活動全体を通じて行う指導

(1)各教科等と関連をもたせた指導

①意欲的な学習態度を道徳の時間につなげて育てる

意見を発表できるようになったよ → 道徳の時間「勇気を出す」

一生けんめいに取り組んでいたよ → 道徳の時間「ねばり強くやろう」

②周りの人と協力して学習することのよさを感じられるようにする。

困っている友達に手を差しのべていたね → 道徳の時間「他の人を思いやる」

「小学校 心に響き、共に未来を拓く道徳教育の展開」(文部科学省)から

2 教育活動全体を通じて行う指導

(2)実践事例(安芸高田市立可愛小学校の実践より)

「めざせ 仕事の達人！」道徳プログラム学習構想図

安芸高田市立可愛小学校1年生

「めざせ! しごとのたつ人」

生活科「おしごと大きくせん」

道徳の時間 4-(2) 勤労「こくばんがにっこりするかな」

道徳の時間 1-(2) 勤勉・努力「おふるばそうじ」

道徳の時間 4-(2) 勤労「もりのゆうびん屋さん」

ぼくたちみんな しごとのたつ人

学級活動「みなおそう、かかりのしごと」

学級活動「パワーアップかかりのしごと」

2 教育活動全体を通じて行う指導

(2)実践事例(安芸高田市立可愛小学校の実践より)

「めざせ 仕事の達人！」プログラム構想図

めざせ! しごとのたつ人

生活科「おしごと大きくせん」

道徳の時間 4-(2) 勤労「こくばんがにっこりするかな」

道徳の時間 1-(2) 勤勉・努力「おふるばそうじ」

道徳の時間 4-(2) 勤労「もりのゆうびん屋さん」

ぼくたちみんな しごとのたつ人

学級活動「みなおそう、かかりのしごと」

学級活動「パワーアップかかりのしごと」


2 教育活動全体を通じて行う指導

(2)実践事例(安芸高田市立可愛小学校の実践より)

「めざせ 仕事の達人！」プログラム構想図

道徳の時間 4-(2)勤労
「くぼんがにっこりするかな」

係の仕事頑張るとみんなが喜んでくれるんだ。わたしも時間割係の仕事頑張りたいです。




主人公は、どんな気持ちで黒板係の仕事をしているのか考えることを通して、係活動など楽しさを感じ、みんなのために働くとする心情を養う。

2 教育活動全体を通じて行う指導

(2)実践事例(安芸高田市立可愛小学校の実践より)

「めざせ 仕事の達人！」プログラム構想図

学級活動「みなおそう、かかりのしごと」



学級のみんなのために、わすれないで仕事をするよ！


2 教育活動全体を通じて行う指導

(2)実践事例(安芸高田市立可愛小学校の実践より)

「めざせ 仕事の達人！」プログラム構想図

道徳の時間 1-(2)勤勉・努力
「おふろばそうじ」

ぼくも主人公のようにあきらめないうで毎日続けていきたいと思いません。家族が喜ぶからです。



主人公の「ぼく、やるもん。」と言ったときの気持ちを考えることを通して、家族の役に立つ喜びを感じて、自分でやらなければならない仕事はしっかり行おうとする心情を養う。

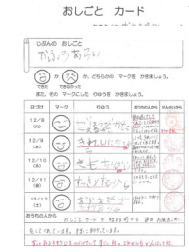
2 教育活動全体を通じて行う指導

(2)実践事例(安芸高田市立可愛小学校の実践より)

「めざせ 仕事の達人！」プログラム構想図

生活科「おしごとと大きせん」
仕事の達人めざしてがんばるぞ！

おしごと カード



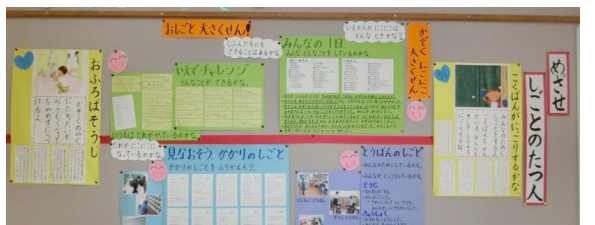
毎日お手伝いをしたら、みがいたところもピカピカになるし、家族の顔もニコニコになるからがんばるぞ！

2 教育活動全体を通じて行う指導

(2)実践事例(安芸高田市立可愛小学校の実践より)

「めざせ 仕事の達人！」プログラム構想図

教室掲示の工夫



児童の思考が自然に流れていくような視覚的な支援として

成果



- 道徳の時間と他教科とをつなげるプログラム学習を行うことで、係の仕事も家庭での仕事も「仕事の達人になろう！」という一つの目標に向かって意欲的に取り組むことができ、学習に深まりがでた。
- 家庭での仕事については保護者の評価もあり、子供の励みにつながった。

課題



●プログラム学習を、約1ヶ月に渡って行ったため、児童の意欲を継続させるのに苦労した。プログラムを意識させながら取り組んでいく工夫をもっと研究する必要がある。

3 その他の教育活動における指導

(小学校学習指導要領「第3章 道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」)
道徳教育を進めるに当たっては、学校や学級内の人間関係や環境を整えるとともに、学校の道徳教育の指導内容が児童の日常生活に生かされるようにする必要がある。

- ① 日常的な生活の場面における指導
- ② 人間関係の充実
- ③ 教室や校舎・校庭等の環境の整備

① 日常的な生活の場面における指導

児童の発達段階や特性等に応じて、あいさつなどの基本的な生活習慣、礼儀等の生活上のきまり、人間としてしてはならないことをしないことなどを身に付けたり、教師と児童及び児童相互の人間関係を深めたりすることが大切である。

<児童が自由に行動できるもの>

○朝の始業前 ○休憩時間 ○放課後の時間

<一定の行為が課されているもの>

○給食の時間 ○朝や帰りの話合いの時間
○清掃の時間

日常的な場面は、児童一人一人において家庭や地域社会での日常生活と連続している。⇒学校と家庭や地域社会とが共通の方針に基づいて基本的な生活習慣や規範意識等をはくむことが大切である。

「小学校学習指導要領解説 道徳編」より抜粋

② 人間関係の充実

「小学校学習指導要領解説 道徳編」より抜粋

児童の道徳性は、日々の人間関係の中で培われる。学校や学級における人的な環境は、主に教師と児童及び児童相互のかかわりにおいて形成される。人間関係に関する指導においては、特に道徳の内容の2の視点「主として他の人とのかかわりに関すること。」に含まれる内容項目が実践できるような状況をつくるように心掛ける必要がある。

(1) 教師と児童の人間関係

教師に対する児童の尊敬と、児童に対する教師の教育的愛情、そして相互の信頼が基本

(2) 児童相互の人間関係

相互の交流を深め、互いが伸び伸びと生活できる状況をつくることが大切

(3) 様々な人との人間関係

学校で働く人や学校を訪問する保護者や地域の人々などとの交流⇒様々な人と触れ合い、多様な人間関係を体験すること自体が、相手への思いやり、協力や感謝の気持ちなどの道徳性を高める。

③ 教室や校舎・校庭等の環境の整備

(1) 環境美化や整理整頓

- 自分たちの問題としてとらえることができるようにすることが大切。⇒自分たちの環境を自分たちで整える態度は望ましい社会参画への第一歩。
- やり終えた後の心地よさを味わわせる。
- 清掃の時間、全校美化活動などによる環境美化、緑化のための栽培活動なども見通しをもって行うことが大切。
- 掃除が行き届いた教室や廊下、季節ごとの花が咲く学校園、教材・教具がきちんと納められている棚などは、児童に安心感と心の温かさを生み出す。

「小学校学習指導要領解説 道徳編」より抜粋

③ 教室や校舎・校庭等の環境の整備

(2) 愛校心や郷土への愛着を深める環境づくり

- 学校や地域の歴史、卒業生の作品、古くから大事にされている記念碑
- 教師や保護者をはじめ、地域の人々や先輩などが児童に託する願いを表した掲示や作品の設置、児童が共同制作した作品や様々な学習の成果の展示



児童が学校のへの所属感を高めるとともに、学校への親愛の情や地域や郷土への愛着を深めることにもつながる。

「小学校学習指導要領解説 道徳編」より抜粋

③ 教室や校舎・校庭等の環境の整備

(3) 道徳性の育成にかかわる情報などの掲示

- 学校や学級の目標やきまりに関する掲示、児童の考えや意見に関する掲示、道徳の学習内容に関する資料等の掲示など
⇒児童が積極的にかかわることのできる応答的な環境をつくることが求められる。
- 掲示による図書の紹介、生活の合い言葉や標語の紹介など
⇒言語環境を整えたり豊かにしたりしていくことも大切。
- 音楽や造形など美的な情報を養うことを主とした環境、社会的な問題への関心を高める報道資料を生かした環境、自己の生き方と重ねて考えを深めることができる先人のメッセージなどを生かした環境なども、効果的である。

「小学校学習指導要領解説 道徳編」より抜粋



ご清聴ありがとうございました